

製品名: IRF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00047**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	IRF1
別名	IRF1; Interferon regulatory factor 1; IRF-1
遺伝子 ID	3659
SwissProt ID	P10914
免疫原	ヒト IRF1 の組み換えタンパク質

背景

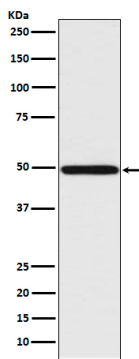
I型インターフェロン (IFN) および IFN 誘導性 MHC クラス I 遺伝子上流調節領域 (インターフェロンコンセンサス配列 (ICS))

に特異的に結合し、これらの遺伝子を活性化します。腫瘍抑制因子として作用します。IRF1の欠陥は胃癌（GASC）[MIM:613659]の原因であり、胃癌（腸管型胃癌または胃癌とも呼ばれます）とも呼ばれます。胃癌は胃で発生し、食道や小腸に転移し、胃壁を越えて近くのリンパ節や臓器に進展する悪性疾患です。また、体の他の部位に転移することもあります。

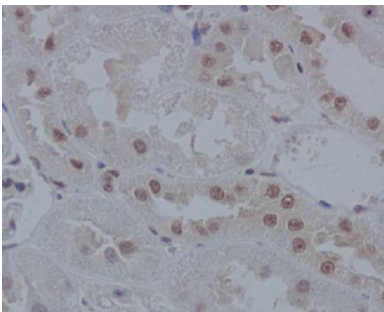
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

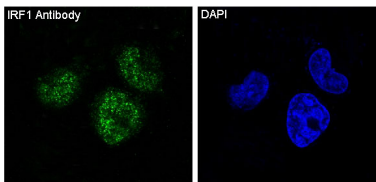
画像データ



IRF1抗体を使用したJurkat溶解物中のIRF1のウエスタンブロット分析。



IRF1抗体を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



IRF1抗体を使用したHelaのIRF1の免疫蛍光分析。